

兵庫県保険医協会北阪神支部 審査・指導対策研究会

# 縦覧・突合点検実施後の審査の現状

## ～支払基金における審査の現状と問題点～

日時 **7月20日(土)** 15時～17時 **参加費無料**

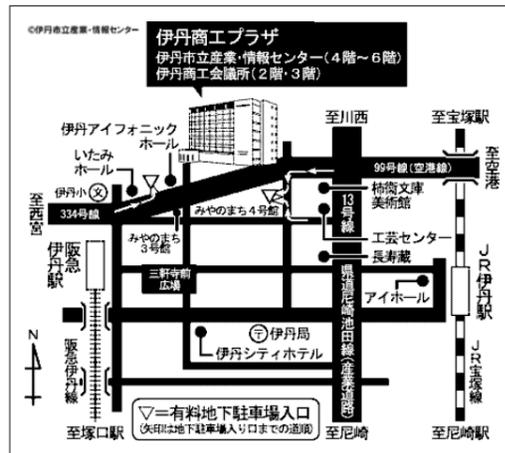
会場 伊丹市立産業・情報センター4F 会議・研修室A  
(伊丹市宮ノ前2-2-2 ☎072-773-5007)

講師 全国社会保険診療報酬支払基金労働組合・前中央執行委員長  
**南 鉄雄 氏**

共催 株式会社エムシーシステム ※当日、会場前で株式会社エムシーシステムによる電子カルテ、レセプトコンピューターの展示会を開催いたします。

昨年4月から電子レセプトの縦覧・突合点検が始まり、従来はなかった減点査定が急増しています。「病名漏れ」や「適応外使用」、「複数月に1回等の算定制限のある検査」等の減点を防ぐためにレセプト提出前の点検が一層重要になっています。

今回は、元支払基金職員の南氏から、縦覧・突合点検が開始されて以降、審査の状況がどのように変化しているか、最近の査定の傾向などについて、先生やスタッフの方がぜひ知っておくべき問題点、レセプト請求の注意点を現場のリアルな経験をもとにお話しいただきます。



・阪急伊丹駅・JR伊丹駅から徒歩約8分  
・お車の方は、市営宮ノ前地下駐車場をご利用ください。

※お問い合わせは、北阪神支部担当事務局 (Tel 078-393-1805) 横山・小川まで

＜お申し込み＞ FAX: 078-393-1802 (切り取らずに送信ください)

審査・指導対策研究会(7/20)に( )人参加します。

地区( ) 医療機関名( )

ご氏名( )

電話番号( ) FAX番号( )

兵庫県保険医協会

# 北阪神支部 ニュース

2013年7月5日号 No.228

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部  
支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31  
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

職員接遇研修会を開催

## 笑顔で明るくやさしい気持ちで



講師の水原道子先生

北阪神支部は5月18日、伊丹市立産業・情報センターで「職員接遇研修会」を開催。大手前短期大学教授の水原道子先生が「接遇の基本とクレーム対応」と題して講演、19医療機関から67人が参加した。

講師の水原先生は、自らの医療機関での勤務経験を踏まえた患者対応の要点や、相手に良い印象を与える笑顔や接し方など、ロールプレイを交えてわかりやすく解説。

またクレーム処理について、苦情を受けたら「人にかえる」「場所をかえる」「時間をかえる」の3つの原則を強調し、「決して一人で抱え込まず、集団的に初期対応することが肝要」、「業務改善への提案と受けとめることも必要」とした。

参加者からは「普段何気なく仕事をする中で『常に笑顔で明るくやさしい気持ち』を心がけようと思った」「あらためて接遇の大切さを感じた。明日からまた頑張れる」といった声が聞かれた。



参加者どうして会話のロールプレイをする様子

### 参加者からの声

- 実演とコミュニケーションをとりながらの研修なので楽しくてわかりやすかった。
- クリニックの場所や患者さんの人柄によって、その医院に合った対応で良いと言われたのが一番印象に残った。
- 色々な場面での対応方法が聞け、勉強になった。とてもわかりやすい説明だったので頭にすっと入ってきた。今後この研修を生かせればいいのだが、実践に移すことはなかなか大変だろうと思う。生かせるよう努力したい。
- 「職員全員」の意識が必要と伺い共感した。何事も笑顔で誠心誠意向き合うことだと実感した。
- 忙しくなると気をつけていても忙しくない時の対応とやはり変わってしまっていると思う。一度手を止め、患者さんと向き合うよう意識していきたい。

レクリエーション企画

## 丹波焼

# 陶芸体験教室を開催

北阪神支部は5月26日、サンシティ伊丹で陶芸体験教室を開催。丹波焼陶工の上中稲右衛門氏を講師に招き、医師、歯科医師、スタッフやそのご家族30人が参加した。

作成を始める前にまず講師から、丹波焼の歴史や特徴、製法についての解説があり、丹波焼は日常生活になじんだ「生活用器」が主として作られていることなど紹介された。



何を作るかイメージしながらコネコネ

講師がまずお手本として、「手びねり」を講師の上中稲右衛門氏実演。「手ろくろ」やへら、針金などを用いて見事なお皿を作り上げたら、さっそく参加者も挑戦。色は2種類から選び、思い思いに模様もつけ、それぞれ1～2点の作品を作りあげた。

形成した作品は講師が持ち帰って、後日窯（「稲右衛門窯」）で焼成して完成させ、約1～2ヶ月で参加者の手元に届く予定。参加者は出来上がりを楽しみに、苦勞して作った自分だけのオリジナル作品に満足していた。以下、感想文を紹介する。

## 感想文

### 世界に一つだけ 手作りの丹波焼

昨年に続き2回目の参加をさせて頂きました。今回も丹波焼窯元の稲右衛門窯の先生にご指導いただきました。丹波焼は日本六古窯の一つに数えられ、立坑には登り窯を有する窯元が建ち並んでいます。

稲右衛門窯は江戸時代から今日まで、火を絶やすことなく伝統を受け継がれてきたそうです。その窯元の先生に直接ご指導頂ける機会ですので、とても楽しみにしておりました。

当日は粘土はもちろん、作陶に必要な道具は全て用意していただいていたので、ただただ、個々の作品作りに没頭することができ、楽しい時間を過ごさせていただきました。

今回は前回よりも子どもさんの参加も多く、楽しそうに土に触れ、各々の作品を作り上げておられたのも良い経験だと思います。

(3面につづく)



講師の上中稲右衛門氏

(2面のつづき)

出来上がった作品は、先生が焼き上げてくださいます。陶芸はなかなか難しく、思い通りにはいきませんでした。世界に一つしかない手作りの器が焼きあがるのが楽しみです。

昨年は主人が大皿を、私はカップを2個作りました。それぞれの反省点を生かし、今年も同じ作品に挑みました。丹波焼が素朴な生活用器のひとつとして、わが家の食器棚に並ぶことと思います。

先生と奥様をはじめ、企画運営していただきました協会の方には、大変なご苦勞をいただき、本当にありがとうございました。短い時間でしたが、芸術に触れ、日々の生活に潤いを持たせたことに感謝しております。これからも楽しい企画を期待しております。

【川西市・浜田整形外科 職員 平野 幸子】

続けてます！

宝塚社保協が年金天引き日に合わせ署名活動

## 社会保障制度改悪に反対の声を



署名を訴える中井支部長

社会保障をよくする宝塚の会(宝塚社保協)は6月14日、後期高齢者医療制度の保険料の年金天引き日に合わせ、阪急逆瀬川駅前で、社会保障の充実を求める街頭宣伝を行った。13人が参加し1時間で、35筆の署名を集めた。

街頭宣伝に立った中井通治支部長(同会副会長)は、「アベノミクスで株価が上がり、企業の収益も増えているが、我々一般国民の暮らしはよくなっただろうか。これから待ち受ける消費税増税、TPP参加による国民皆保険の崩壊の危機など、私たちの暮らしと命を脅かす政策は断固反対しないとイケない。国が社会保障にきちんとお金をかけ、国民が安心して医療にかかれるように求めよう」と道行く人々に訴えた。

### 第311回幹事会だより

6月6日(木) 於・伊丹市立産業・情報センター  
参加：5人

- ◆北阪神支部の会員数と組織率  
6月6日現在 医科322人(71%)、歯科162人(51%)
- ◆医療をめぐる情勢と運動対策  
生活保護法改正案、薬事法改正と再生医療安全性確保法案などについて議論した。
- ◆当面の支部活動  
7月20日(土)15時00分～伊丹市立産業・情報センターにて審査指導対策研究会「縦覧・突合点検実施後の審査の現状」、9月28日(土)17時～伊丹シティホテルにて第9回在宅医療研究会「認知症・パーキンソン症候群(仮)」を開催予定。
- ◆次回の幹事会  
7月4日(木)14時30分～伊丹市立産業・情報センター4F研修室B  
会員の先生方はどなたでもご参加いただけます。

お問い合わせはTEL 078-393-1805 小川・横山まで